



鈴鹿市立明生小学校

# 明生の旗高く

< 学校教育目標 >

地域とともに  
明るく元気に生きる  
明生の子

## ■ 「裸眼視力1.0未満」の割合が小中高で過去最高に

文部科学省の2024年度「学校保健統計調査」によりますと、裸眼視力が「1.0未満」の子どもの割合が過去最高になったことがわかりました。

「1.0未満」の子どもの割合は、高校では10年前と比べて15ポイント増え、71.1%に。中学校や小学校でもおよそ7ポイント増えて中学校で60.6%、小学校で36.8%という結果になりました。

文部科学省は、視力の低下を防ぐには、長時間、近くのものを見続けなくようにすることや、休み時間などにできるだけ外で過ごし太陽の光を浴びることが重要だとしています。

原因としてすぐに思い浮かぶのはスマホやゲームですが、「手元でものを見ること」が近視の進行に影響することが分かっています。「スマホを見る」も「机で勉強する」も手元の作業であり、多少の差はありますが、実はともに目には良くないらしいです。そこで視力低下を防止する方法として

①デジタル機器と目の距離を離すこと。その時、具体的に「画面から30cm目を離しなさい」と数値で伝えるようにすること。

②30分に1回の休憩をとること。この時も「30分に1回、6メートル以上遠くを20秒ほど見ましよう」と具体的に伝えること。

という意見があります。

特にスマホやゲーム画面を見ているときは紙を見ているときより「まばたき」の回数が半分くらいに減ってしまうそうです。

デジタル機器だけでなく読書や勉強をするときも、できるだけ明るい部屋で対象物から目を離し、30分に一度は20秒以上、目を休めることが推奨されています。

## ■ おやじの会主催の六年生を送る会



本年度、さまざまな行事でお世話をしていただいた「おやじの会」による六年生を送る会が9日に開催されました。

初めは「紙飛行機飛ばし大会」でした。練習の時間もあり、思い思いに試作を重ねていました。私も久しぶりに紙飛行機を作りましたが、子どもの頃どのように作っていたのか、思い出せずに終わってしまいました。子どもたちの結果は歴代記録更新とはいきませんでしたが、参加者同士で意見を言い合いながら試作をしたことに意味があると感じました。



次が「戦闘中」でした。体育館で跳び箱や段ボールで自分たちの陣地を作り、ビニールのボールを使って相手陣地の的を破り合う、というゲームでした。たくさんの大きな段ボールを使い障害物を作りました。ここでも参加者同士の助け合い・協力が必要となりました。体育館全体を使ったダイナミックな活動ができたのも「おやじ」の力だと思



おも  
思いました。

前日からの積雪が残る大変寒い日でしたが、六年生の卒業を祝うという熱い気持ちと、活動を楽しむ子どもたちの熱気で身も心も温まる時間となりました。

## ■ ペットのフンは飼い主の責任です

市役所の方から学校周辺の歩道にある犬のフンについて「市民の声」という形で苦情があったという連絡がありました。歩道は学校敷地ではありませんが、隣接しているため一部は学校敷地にも関わっていました。

周辺の歩道は子どもたちの通学路です。子どもたちの生活環境保全のため、ペットと暮らすという生活の行動規範を示すということからも「ペットのフンは飼い主が責任をもって処理をする」ようにお願いします。

### 3月の主な行事予定

3日(月) あいさつ運動・委員会  
10日(月) よみきかせ  
11日(火) 避難訓練  
12日(水) 地区児童会  
18日(火) 6年給食終了

19日(水)  
20日(木)  
21日(金)  
24日(月)  
25日(火)

卒業式  
春分の日  
給食終了 4限授業  
3限授業  
修了式・離任式

1～4年 11:00 5年 11:30 下校